

(昭和53年10月27日)  
事務連絡第41号別紙

## 石綿による疾病の業務起因性判断の ための調査実施要領

1. この調査実施要領は、石綿による健康障害のうち、石綿肺合併肺がん及び中皮腫の業務上外の認定を行うために必要な調査項目を定めたものである。

石綿肺及びその合併症については、本調査実施要領によることなく、じん肺法の定めるところにより従前どおりの方法によって処理されたい。

なお、石綿が使用される業種や作業の種類は多種多様であるので、本調査実施要領によることが著しく不相当と判断される場合には、他の方法により調査を実施して差し支えない。

2. 調査票のうち様式1は、事業場関係調査及び様式2、様式3に基づく調査で判明した主な事項を取りまとめるためのものである。事業場関係調査において、工場・建物の配置、作業工程、作業内容等に関する資料として、図面、写真等が提出されたときは、必要に応じ、説明文を付して調査票に添付されたい。

様式2は、治療を受けた医療機関の医師による臨床所見、病理学的所見等により診断の内容（石綿の体内への取り込みの事実を含む。）を確認するために作成するものである。医師の意見書、すでに作成済みの病理学的所見等の写しを添付する場合は、必要に応じ、調査票の記入を略記し、又は省略して差し支えない。医師に対して意見を求める場合には、できるだけこの様式を依頼文に添付する等により活用されたい。

様式3は、請求に係る労働者本人、家族、同僚労働者等から事情聴取等により調査すべき事項を示したものである。調査に先立って、本人が「がん」に罹患していることについて知っているか否かについて主治医等から確認し、知らないときは細心の注意を払うこと。

なお、石綿肺の所見がじん肺法に定めるエックス線写真の像の第1型以上である石綿ばく露作業従事労働者に発生した原発性肺がん又は原発性の胸膜若しくは腹膜の中皮腫に係る事案については、石綿ばく露関係の調査は適宜省略して差し支えない。

## 事業場関係調査及び調査のまとめ

1. 事業概要

労働保険番号			
事業場の名称			
所在地	〒 <span style="margin-left: 100px;">電話</span>		
注(1) 事業の種類		労働者数	男 名、女 名、計 名
		うち石綿取扱い労働者数	男 名、女 名、計 名
石綿製品の名称、 石綿の取扱い量	石綿製品の名称		
	注(2) 原料石綿又は石綿製品の取扱い量		
	含有する石綿線維の種類 (該当するものに) ○印を付すこと。	クリンタイト・クロソライト(青石綿)・アモサイト ・トレモライト・アクチノライト・アンソフィライト	
	含有率 (%)		

注(1) 「労災保険率適用事業細目表」による「事業の種類」の細目を記入すること。  
 (2) 主要製品の年次別生産量(使用量)を示す資料を添付すること。

2. 石綿取扱い作業及び作業環境測定

工場概要	建物の配置図(石綿取扱い工程は■で図示すること。)を添付		
石綿取扱い作業工程	作業工程図を添付		
作業態様	請求に係る労働者の行動範囲、作業姿勢がわかる絵図又は写真(特に機械、製品、原料と労働者との位置関係がわかるようにすること。)を添付		
作業環境測定実施の有無(注)	無・有(測定結果報告書写しを添付)		
作業環境改善の有無(注)	無・有(改善した時期:昭和 年 月 日 その内容: )		
保護具の使用状況	保護マスク使用の有無	無・有(使用開始時期:昭和 年 月頃 型式の名称: 検定合格番号: )	
	手袋その他の保護具		

(注) 過去の作業環境の状況を知るため、できるだけ古い時代のものから順に調査すること。

3. 請求に係る労働者の職歴等

労働者氏名				性別	男・女
生年月日(年齢)	明・大・昭 年 月 日生(満 才)				
現在の状況	生存・死亡(死亡年月日:昭和 年 月 日、死亡時年齢: 才)				
職種				入社年月日	昭和 年 月 日
過去の職歴及び石綿ばく露作業従事歴  ① 一人親方等として石綿ばく露作業に従事していたときは、その期間を( )書きし、余白部にその旨記入すること。 ② 石綿ばく露が中断したときは、その期間と、その事由(例えば、「肺結核療養のため休業」、「退職」、「じん肺管理3のため作業転換」等を余白部に( )を付して記入すること。	所屬した事業場名	全在籍期間	左のうち石綿ばく露作業従事期間	石綿ばく露作業に係る作業内容	
		昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月		
		昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月		
		昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月		
		昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月		
		昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月		
		昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月		
		昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月		
石綿ばく露期間	ばく露開始年月	昭和 年 月	延 年 カ月		
	ばく露終了年月	昭和 年 月			
喫煙の有無	無・有(喫煙本数 1日平均 本)				
石綿以外の職業性肺がん起因因子へのばく露の有無(「有」の場合は該当するものを○で囲むこと。)	無・有 ( ビス(クロロメチル)エーテル、ベンゾトリクロライド、 電離放射線、コークス又は発生炉ガス製造工程、クロム酸 塩製造工程、ニッケル製錬工程、砒素含有鉱石の製錬工程 ) 又は無機砒素化合物				

4. 請求に係る労働者の健康診断結果

健康診断の種類	受診期間	受診回数	健康診断個人票
一般健診	昭和 年 月～昭和 年 月	回	作成されているときは、 その写しを添付
じん肺健診	昭和 年 月～昭和 年 月	回	
特殊（特化則）健診	昭和 年 月～昭和 年 月	回	

5. 同職種労働者の健康状況

同職種労働者数	男 名、女 名、計 名				
異常の有無 疾病名	有所見者			無所見者	不明
	観察中(注)	療養中	死亡		
	名	名	名	名	名
石綿肺又はその合併症					
肺がん					
中皮腫					

(注) 「観察中」とは、有所見者であるが通常業務に就いている者をいう。

例：じん肺管理区分の管理2又は管理3の石綿肺有所見者（作業転換をした者を含む。）

なお、作業転換をした者については、（ ）書きで外数として記載すること。

6. 疾病の概要

石綿肺及びその合併症	石綿肺	じん肺管理区分(管理 )	決定年月日	昭和 年 月 日
	合併症	無・有(名称 )		
肺がん	原発部位	右・左、上葉・中葉・下葉、末梢型・中心型		
	転移の有無	無・有(転移巣 )		
	発症年月日	昭和 年 月 日		
	潜伏期間 注(1)	年 カ月		
	生検・剖検の有無	無・有(生検・剖検、実施年月日 昭和 年 月 日)		
	組織型	扁平上皮癌・腺癌・未分化癌・その他( )		
中皮腫	原発部位	胸膜・腹膜・その他( )		
	転移の有無	無・有(転移巣 )		
	発症年月日	昭和 年 月 日		
	潜伏期間 注(1)	年 カ月		
	生検・剖検の有無	無・有(生検・剖検、実施年月日 昭和 年 月 日)		
	組織型	扁平上皮癌・腺癌・未分化癌・その他( )		
その他の部位のがん	原発部位			
	転移の有無	無・有(転移巣 )		
	生検・剖検の有無	無・有(生検・剖検、実施年月日 昭和 年 月 日)		
注(2) その他の所見	肺の線維性増殖の有無	無・有(確認方法、エックス線・病理組織診断)・不明		
	胸膜の肥厚斑又はその石灰化の有無	無・有(確認方法、エックス線・病理組織診断)・不明		
	石綿小体の検出の有無	無・有(検出箇所: 本数 )・不明		

注(1) 「潜伏期間」とは、石綿ばく露開始から発症までの期間をいう。

注(2) 「その他の所見」欄は、じん肺管理区分の決定を受けていない者について、エックス線所見又は病理組織学的所見に基づく石綿肺の異常所見に着目して調査のうえ記入すること。

7. 石綿ばく露歴と疾病経過

(1) 石綿ばく露歴と疾病経過

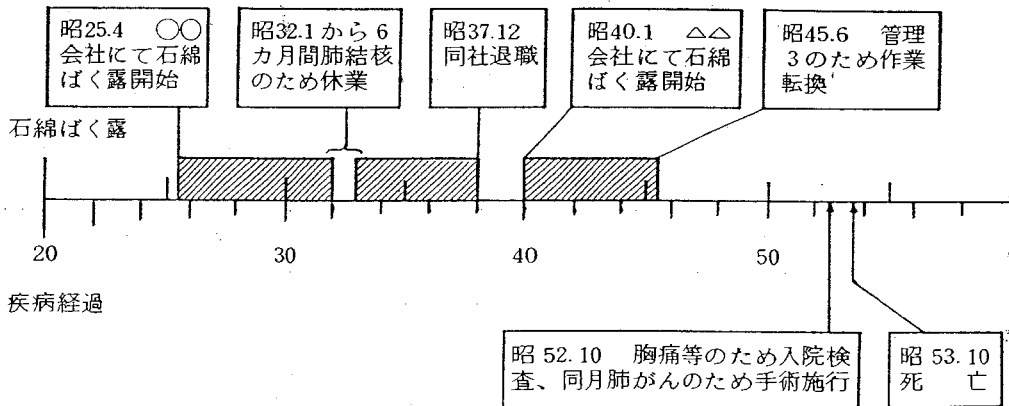
石綿ばく露



疾病経過

② 図の上側には、記入例にならって、前記3の表中「過去の職歴及び石綿ばく露作業従事歴」欄に記入された事項のうち石綿ばく露の開始、中断、終了の時期とその事由を記入すること。下側には、同じく記入例にならって、下記(2)の表中に記入された「疾病経過の内容」の要点(図の上側に記入済みの事項は省略して差し支えない。)を時系的に記入すること。

(記入例)



(2) 疾病経過

年 月 日	疾 病 経 過 の 内 容

註 この表には、記入例にならって、肺結核・胸膜炎等の既往疾病、じん肺管理区分の決定、石綿との関連を疑わせる自覚症状等現症の発現又は診断確定、死亡等についてそれぞれ体系的に記入すること。療養の事実があったときは、病院名、入院・退院・自宅療養の別及びそれぞれの期間を具体的に記入すること。

(記入例)

年 月 日	疾 病 経 過 の 内 容
昭 32. 1. 10 ~ 32. 6. 15	肺結核のため休業（1月10日〇〇病院に入院、2月28日退院、以後6月15日まで自宅療養）
昭 45. 6. 20	じん肺管理区分「管理3」と決定（△△労働基準局）
昭 52. 10. 15	胸痛、せき（空ぜき）、痰あり。××病院に入院検査
同年 10. 20 ~	肺がんのため手術施行（同上病院）、以後死亡時まで入院治療
昭 53. 10. 30	死 亡

## 医 療 機 関 調 査

1. 労働者名

氏 名	(男・女)	生年月日	明・大・昭 年 月 日生(満 才)
		現住所	

2. 診断の内容

診 断 名		
臨 床 所 見	問 診	業務の経歴： 主な既往歴： 自覚症状の経過： その他特記事項：
	自 覚 症 状	
	エックス線所見	
	その他の他覚的所見 (視触診、肺機能) 検査成績等	
	合 併 症	
	その他の臨床所見	
生検・剖検実施の有無		
病 理 学 的 所 見		
そ の 他 特 記 事 項		

- (注) 1. 本表記入に際しては、「石綿による健康障害に関する専門家会議検討結果報告書」を参照されたい。  
 2. 「病理学的所見」欄については、できるだけ主治医が作成された所見本文の写しを添付されたい。



3. 総合所見

(特に石綿と関連のある主な所見、石綿以外の原因によると認められる主な所見について)

## 本人・家族・同僚労働者等からの 事情聴取等による調査

1. 聴取者

氏名	性別	生年月日(満年齢)	本人との間柄
	男・女	明・大・昭 年 月 日(才)	
	男・女	明・大・昭 年 月 日(才)	
	男・女	明・大・昭 年 月 日(才)	
	男・女	明・大・昭 年 月 日(才)	

2. 請求に係る労働者の全職歴

所属した事業場名 <sup>注(1)</sup>	入社及び 転・退職年月日	作業の内容 <sup>注(2)</sup>
	昭和 年 月 日 ～昭和 年 月 日	
	昭和 年 月 日 ～昭和 年 月 日	
	昭和 年 月 日 ～昭和 年 月 日	
	昭和 年 月 日 ～昭和 年 月 日	
	昭和 年 月 日 ～昭和 年 月 日	

注(1) 一人親方等として職歴のある場合は、「所属した事業場名」欄にその旨を記入し、期間、作業の内容を記入すること。

注(2) 「作業の内容」欄は、職種名のほか石綿その他の化学物質取扱い作業、鉱山における作業その他粉じん作業の従事歴があるときは、取り扱った物質名、作業の内容(概要)を聴取のうえ記入すること。

3. 石綿ばく露作業従事の状況

	所属した事業場名	ばく露開始時期	ばく露終了時期	延ばく露期間
注(1) 石綿ばく露期間		昭和 年 月	昭和 年 月	年 カ月
		昭和 年 月	昭和 年 月	年 カ月
		昭和 年 月	昭和 年 月	年 カ月
		昭和 年 月	昭和 年 月	年 カ月
注(2) 作業の内容				
注(3) 石綿ばく露の状況				
注(4) 保護具の使用状況				

注(1) 一人親方等として石綿ばく露のある場合は、「所属した事業場名」欄にその旨を記入し、ばく露期間等の事項を記入すること。

注(2) 「作業の内容」欄は、職種名と関連工程、取り扱った機械、製品名、その形状、取扱い量、作業態様、勤務時間等具体的な事項を記入すること。

注(3) 「石綿ばく露の状況」欄は、発じんの状況、衣服・室内のよごれの具合、環境改善がなされておればその時期及び改善前後の状況等を記入すること。

注(4) 「保護具の使用状況」欄は、マスク（防じん又はガーゼ等）、手袋、作業衣等専用の保護具の備付けとその使用状況、品質、使用開始時期等を記入すること。

4. 請求に係る労働者及び同僚労働者の健康状態<sup>(注)</sup>

	時期又は期間	健康状態
本人の健康状態		
同僚労働者の健康状態		

注) 本人については気づいたことを年代順に記入することとし、同僚労働者についてはじん肺（石綿肺）とその合併症（肺結核、胸（肋）膜炎等）、がん等の罹患状況（時期、疾病名、罹患患者数又は氏名、同僚労働者の人数）を年代順に記入すること。

5. 現症及び既往歴<sup>注(1)</sup>

年 月 日	受 診 病 院 名	病 名 ・ 症 状 等 <sup>注(2)</sup>
昭和 年 月 日		
昭和 年 月 日		
昭和 年 月 日		
昭和 年 月 日		
昭和 年 月 日		

注(1) 本表は、詳細が不明であってもわかり得る範囲のことを記入し、詳細不明、記憶不明瞭等を付記しておくこと。

注(2) 「病名・症状等」欄には、じん肺管理区分の決定等疾病以外であっても特記事項があれば記入すること。

6. 嗜 好

喫煙歴の有無	無・有 ( いつごろからすいはじめたか：昭和 年頃 いつごろやめたか : 昭和 年頃 1日最高： 本程度、 1日平均： 本程度 )
飲酒歴の有無	無・有 ( 酒の種類： 1日の飲酒量： )

7. 家族の健康状態

( 本欄は、本人と同居の家族及び直系親族の生死の状況、死亡者については死因、その他の特記事項があるときはその概要について聴取したことを記入すること。 )